

三社の新聞の比較

41期

I テーマ設定の理由

新聞というのは、事実を読者に伝えるものである。しかし、どこの会社の新聞の報道もまったく同じとはいえないであろう。多少は異なる点があるはずである。また、各新聞社によって事件の見方、事件に対する意見などの違いも生じるはずである。

これらの報道面での異なる点や、意見の違いなどを調べ、比較検討してみようと思った。

II 研究方法

- (1) 7月分の新聞（読売・朝日・毎日）を集め、資料（記事）の整理を行う。（全朝刊）
- (2) 調査の対象となる記事を選び、その記事を比較する。
- (3) (2) で得られた結果をもとにし、考察する。

III 研究内容

[1] 一面について

- (1) まず、一面の記事をトップ記事、2番記事、3番記事に分ける。そして、その各記事を国内、外国、外交（貿易）のどれにあたるかを調べ、分類する。それを表にしたものが下の表である。

①…トップ記事 ②…2番記事 ③…3番記事（以下同じ）

		7月																														
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
国内	読売	1	○		○	○	○	○	○																							
		2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○													
		3	○		○			○	○			○	○	○	○	○	○	○					○			○	○	○	○			
	朝日	1	○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		2	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○								○			
		3	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	毎日	1	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		2	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		3	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
外国	読売	1							○								○															
		2															○										○	○	○	○		
		3					○													○											○	
	朝日	1																														
		2									○					○	○									○	○	○	○	○	○	○
		3					○																									○
	毎日	1																														
		2																														
		3															○	○														○
外交(貿易)	読売	1		○																												
		2																														
		3			○						○	○			○							○	○					○		○		
	朝日	1		○	○		○																									
		2			○	○																										
		3																														
	毎日	1		○																												
		2																														
		3																														

この表をわかりやすくするために、トップ記事→5ポイント、2番記事→3ポイント、3番記事→1ポイントとして計算すると結果は下のようになった。

国内	読売…①	20回	②	21回	③	15回	ポイント計	178ポイント
	朝日…①	24回	②	17回	③	22回	ポイント計	193ポイント
	毎日…①	24回	②	23回	③	24回	ポイント計	213ポイント
外国	読売…①	4回	②	5回	③	5回	ポイント計	40ポイント
	朝日…①	1回	②	11回	③	2回	ポイント計	40ポイント
	毎日…①	2回	②	3回	③	3回	ポイント計	22ポイント
外交	読売…①	7回	②	5回	③	6回	ポイント計	56ポイント
	朝日…①	6回	②	4回	③	6回	ポイント計	48ポイント
	毎日…①	5回	②	4回	③	4回	ポイント計	41ポイント

このことから、国内の報道は3社とも重視していることがわかる。その中でも、特に重視しているのが毎日であった。

外国の報道は、毎日が少なく読売と朝日が同じであった。また朝日は、2番記事に外国の報道が多く、トップ記事・3番記事を使うのは少ない。外国の報道は全体的に少なかった。

外交(貿易)に関する報道は、読売→朝日→毎日の順に多かった。また、各社ともに、2番記事を外交の報道に使うのは比較的少なかった。

この7月は、あまり大きな事件がなかったので一面全部を一つの事件でしめるものは、各社ともなかった。

(2) 次に、ある日の記事で同じことについて書かれている見出しをとりあげ、それを比較してみる。

① 7月16日の記事について

読売 「大統領が承認」(イラン秘密工業)	見出しだけを見ると、読売と毎日は大統領がイラン秘密工業を承認していたと受けとめられるので大統領の責任のように感じる。しかし朝日は大統領は知らないというふうに受けとめられるので大統領の責任のように感じない。少しの表現の違いで正反対に受けとめられることがわかる。
朝日 大統領は知らず(武器代金流用)	
毎日 米大統領 承認の署名	

② 7月31日の記事について

読売 防衛費は6.2%増	これは全部同じことである。しかし、読売は防衛費が6.2%増えたことをあまり強く思っていないように感じる。朝日は「防衛費 伸び6.2%」と書いていることから、本当に伸びたという気がする。毎日は、いかにも防衛費が伸びすぎて、多くなりすぎだというふうを感じる。各社の防衛費に対するとらえ方や考え方がよくわかる。
朝日 防衛費 伸び6.2%	
毎日 防衛費「突出」6.2%増	

(3) 最後に3番記事がなかった日を調べてみる。

読売 5回 朝日 0回 毎日 0回

このことから、読売は一つの事件に対して深く報道していることがわかる。また、朝日と毎日は多くの事件を報道していることがわかる。

[2] コラムについて

コラムの内容を読み、一つ一つに題をつける。(例 ウナギの話)そして、その題を参考にしながら内容別に分ける。それをまとめたものが下の表である。

	読売	朝日	毎日
政治的な話	5回	9回	10回
事件からの話	2回	3回	3回
人の話	6回	3回	4回
身近な話	18回	15回	14回
その他	0回	1回	0回

政治的な話は、読売が少なく朝日と毎日が多。また、少しの差ではあるが事件からの話もそうである。

しかし、人の話や身近な話は読売が多く朝日と毎日は少ない。

私はあまり政治的な話や事件などの話は好きではない。だから、私にとって読売のコラムが一番読みやすかった。

[3] 社説について

社説の題をみて3社とも同じことについて書かれている記事を取り出し、それぞれの内容を比較してみる。

(1) 東芝首脳辞任についての記事

読売 7/3 東芝トップ辞任の教訓	これは、東芝がココムを違反したことについての論評である。読売は、ココムは絶対に守らなければならないとした上での論評であるが、朝日と毎日は、そのことにはふれていない。特に毎日は、この事件によってココムが強化されることには疑問をもっている。
朝日 7/3 疑問の残る東芝首脳辞任	
毎日 7/3 “東芝事件”から学ぶべきこと	

(2) 中曽根首相の最後の演説についての記事

読売 7/7 国際的責任を説いた首相演説	この論評で、読売は、首相の「国際国家についての国民の自覚と協力」の訴えを評価している。朝日は、それを評価しつつも首相に対する注文も多い。毎日は、首相演説の内容より、その話し方、表現方法に重点を置いている。(国民の関心と呼び寄せるような演説を、と注文)
朝日 7/7 首相の最後のメッセージ	
毎日 7/7 ソツない所信表現 されど…	

(3) SDIの日本参加についての記事

読売 7/23 西側の協力体制整ったSDI	この論評で、読売は、SDIの日本参加を評価している。朝日と毎日は、SDIの日本参加に疑問と不安を持っている。
朝日 7/23 禍根を残すSDI研究参加	
毎日 7/23 不透明さ残るSDI協定	

(4) マル優廃止についての記事

読売 7/26 税制協議とともに改革案を急げ
朝日 7/26 なぜ、マル優廃止をいそぐのか
毎日 7/26 なぜ「マル優」廃止を急ぐのか

この論評で、読売は、減税財源確保のためのマル優廃止はやむを得ないとしている。朝日と毎日は、マル優廃止を急ぐのはおかしいとしている。また、他の不公平優遇税などを是正するのが先ではないかと指摘している。

このように社説を比較してきたが、読売が一番今の政治に肯定的であるように思った。朝日と毎日は今の政府には少し不満を持っているように感じた。

[4] プロ野球について

プロ野球報道の見出しには、どこの球団のことをのせているかを調べ、表にまとめる。その表は下のとおりである。

	読売	朝日	毎日
巨人	16回	2回	3回
阪急	6回	3回	3回
西武	5回	4回	3回
広島	2回	4回	3回
阪神	1回	4回	6回
南海	1回	3回	2回
その他	8回	7回	9回
なし	1回	8回	5回

読売は巨人という球団を持っているので、巨人の試合があれば必ずといってよいほど、負けても勝っても見出しは巨人だった。それに対し、朝日と毎日は巨人のことを見出しにのせるのは少なかった。また、朝日と毎日はまんべんなく各球団のことをのせていた。

この表を見ると「なし」（報道がないという意味）が、読売は1回、朝日は8回、毎日は5回である、このことから、読売が一番プロ野球報道に対する積極性が高いといえる。朝日はあまりプロ野球報道に対する積極性が高いとはいえない。

(複数あり)

[5] 社会面（三面記事）について

同じ事件の報道を比較し、3社の異なる点を調べてみる。

(1) 自衛隊のタンクに落雷した事故

① 消火にあたった消防車などの数

〔読売〕書いていない 〔朝日〕約20台 〔毎日〕12台

② 炎上したタンクには避雷針があったか？

〔読売〕調査中 〔朝日〕タンク内のアースが役割をしていた（設置は義務づけられていた） 〔毎日〕避雷針は、建物の高さが20メートル以上から設置しなければならないが、このタンクは20メートル以下なので対象外。

(2) 潜水事故（男女水死）

① 事故原因

〔読売〕辻上さんがおぼれ、大浜さんが助けにいった二人ともおぼれた 〔朝日〕大浜

さんがおぼれ、辻上さんが助けにいった二人ともおぼれた 〔毎日〕どちらか一人がおぼれ他の一人が助けにいった二人ともおぼれた

(3) 飛び込み自殺（JR関西線）

① 巻き添えにされた山田さんのけが

〔読売〕3週間の重傷 〔朝日〕3週間の重傷 〔毎日〕1か月の重傷

② この事故で何人の足に影響したか？

〔読売〕5千人 〔朝日〕約1万8千人 〔毎日〕書いていない

(4) 酒井師のこと

① 二千日回峰をなしとげて酒井師が帰ってきた時にいた人の数

〔読売〕約300人 〔朝日〕約200人 〔毎日〕約300人

② 1回周るのに拜む場所の数

〔読売〕260か所 〔朝日〕書いていない 〔毎日〕約270か所

(5) 失恋少年暴行事件

① 母親がかけた電話番号

〔読売〕119番 〔朝日〕110番 〔毎日〕書いていない

(6) 主婦殺人事件

① 殺された主婦の夫の年齢

〔読売〕47歳 〔朝日〕46歳 〔毎日〕46歳

(7) 針混入事件

① 犯人の顔をかくした物

〔読売〕捜査員の背広 〔朝日〕黒い布 〔毎日〕書いていない

(8) 高波の鉄人レース事件

① 行方不明の救助員（福原さん）はなぜボートから投げ出されたか？

〔読売〕参加者7人が救助を求め、ボートに一度にとりついたので 〔朝日〕高波をうけたので 〔毎日〕大波をかぶったので

(9) 現金輸送車襲撃事件

① コースを知っている人は？

〔読売〕幹部ら3、4人 〔朝日〕書いていない 〔毎日〕幹部ら7、8人

(10) スナックママ殺害事件

① 殺された人はスナックをいつごろからはじめていたか？

〔読売〕5、6年前 〔朝日〕10年ほど前 〔毎日〕5、6年前

(11) 現金輸送車襲撃事件、ハンマー公開

① ハンマーの頭部分の長さ

〔読売〕11センチメートル 〔朝日〕11.2センチメートル 〔毎日〕書いていない

(12) 水上スキー少女不明事件

① どこで転覆したか？

〔読売〕左岸から約15メートルの所 〔朝日〕左岸から約25メートルの所 〔毎日〕書

いていない

(13) 南欧を襲った熱波事件

①アテネの気温

〔読売〕46度 〔朝日〕書いていない 〔毎日〕48度

(14) スナックママ殺害事件

①殺された人の年齢

〔読売〕40歳 〔朝日〕45歳 〔毎日〕40歳

②犯人の年齢

〔読売〕45歳 〔朝日〕43歳 〔毎日〕43歳

意外に違った報道が多かった。少しぐらいはあるだろうとは思っていたが、これだけでも報道の違いがあるのにはおどろいた。私が見た限りでもこれだけのことが見つかったので、もっと能力のある人が探すとまだ見つかったと思う。

事件の報道の場合は状況を読者に正確に伝えることが新聞の義務である。だから、読む新聞によって同じ事件で違う受け取り方があってはならないと思う。

どの新聞社も事件の報道には記者の主観などは入っていないだろうとは思いますが、人それぞれに同じ物を見ても感じ方が微妙に違うように、事件の取材においても記者の受け取り方に少しの違いはあると思う。そういう所が記事の違いの原因の一つではないだろうか。

Ⅳ 総論

このように3社の新聞の比較をしてきたわけだが、まず思ったのが、読売が一番読みやすかったことと、朝日が一番かたぐるしかったことだ。また、毎日はその中間といった所であろう。

プロ野球は読売が一番積極的だった。朝日は高校野球が始まると、プロ野球のことなんかほったらかしという時もあった。毎日はこの点では読売に似ていた。コラムは読売が身近な話が多く一番おもしろかった。それに対し、朝日と毎日は政治的な問題や事件に対する話が多かったため、私はあまり興味もてなかった。一面ではいろいろなことがわかった。いままで一面は読むことが少なかったので、新しい発見が多かった。また、一面に親しむことが出来たので、よい勉強になったと思う。社会面(三面記事)での報道の違いが多いのにおどろいた。一つ一つ見つかっていくたびになぜか楽しくなり、うれしくなった。また、これだけの違いがあるということは、1社の新聞を読んだだけで一つの事件を判断することは危険かもしれない。

Ⅴ 総括

今回の自由研究では、シリーズ物や四コママンガの比較もしてみたかったが、他に時間がかかりすぎて出来なかったのは少し心残りだ。

この自由研究で、今まで新聞にあまり興味もっていなかったのが、全部の記事を前より少しだが多く読むようになり、政治・経済・外交等も前より少しはわかるようになったことは、私にとって大変有意義だったように思う。